

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29210	人間関係指導法	加藤 緑	2年次・前期	演習・1単位	幼免・保育士必修

授業の概要 / Course Outline
<p>領域「人間関係」のねらい及び内容について、乳幼児の人間関係の発達の特徴を踏まえ理解を深める。その上で、幼児の発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びを実現する保育を構想し、実践する方法を身に付ける。具体的には配布プリント、視聴覚教材(映像)を用いて講義及びグループワーク形式で授業を行う。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。	C-① D-②
2. 領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を構想する力を身に付ける。	A-② D-①
3. 領域「人間関係」における現代的課題を理解する。	A-① B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	30%	授業で学んだ内容を的確にとらえて、それを理解し、それについて自分の意見を述べているか。
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	70%	授業時に行うグループワークへの取り組みと理解について。(発表、意見、質問等)

教科書 / Textbooks
特に指定しない。毎回、プリントや資料を配布します。

参考書 / Reference Books
適宜指示します。

予習・復習 / Preparation・Review
予習:授業ごとに指定する課題に対する各自の答えを用意してくる。 復習:予習で考えた課題と授業の内容を合わせて、人間関係指導法を検討し直す。

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回の授業冒頭に、前回の授業課題のフィードバック及びコメントペーパーでの振り返りを行う。

その他 / Others

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	ガイダンス・領域「人間関係」の全体像をつかむ
	5領域の中の領域「人間関係」の位置づけ。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を軸に考える。
02	保育者との信頼関係と園生活での安心感を形成する援助の在り方
	子どもを取り巻く人間関係について考える。保護者・保育者等大人との関わりの重要性を理解する。
03	子どもの発達を踏まえた援助の考え方①
	0歳児から3歳未満児の育ちの姿に沿った援助を考える。
04	子どもの発達を踏まえた援助の考え方② 仲間を意識する姿から考える
	3歳の育ちの姿に沿った援助について、実践映像から考える(グループワーク)。
05	子どもの発達を踏まえた援助の考え方③ 仲間との葛藤場面から考える
	4歳の育ちの姿に沿った援助について、実践映像から考える(グループワーク)。
06	子どもの発達を踏まえた援助の考え方④ 保育者や仲間との関係から自己を形成していく姿から考える
	5歳の育ちの姿に沿った援助について、実践映像から考える(グループワーク)。
07	ルールのある遊びと保育者の援助
	遊びの中で生まれる葛藤から子どもにとって意味のあるきまりを引き出す保育者の支援について考える。
08	きまりをめぐる様々な幼児の葛藤と援助
	家庭生活・園生活・社会生活のきまりと幼児に経験させていないようについて考える。
09	他者との関わりの中で自他の気持ちに気付く援助の在り方
	折り合いのつかない事例について考える。
10	幼児にとって意味のある行事のねらいと活動について考える
	行事が幼児の生活にどのような意味を持つのか、領域「人間関係」の視点で考える。
11	個と集団の育ちについて考える
	幼児同士の関わり合いを生かす、保育者の間接的なかかわりにについて考える。
12	長期的な見通しをもった保育を構想する
	子どもの姿から、育ってほしい姿を長期的に見通し、保育の展開を考える。
13	地域の中で育つ子ども、地域の中の園
	地域の特徴等を踏まえ、幼児期に経験させたい地域の人との関わりについて考える。
14	多様な人との関わりを通して豊かな人間関係を育むために
	様々な人との関わりにある特徴を踏まえて、子どもの模範となる保育者の在り方を考える。
15	領域「人間関係」における現代的諸問題・まとめ
	現代社会を生きる子どもたちの育ちをどのように援助するかを考える。総括。